



2021年3月期 中間決算説明会

東京エレクトロン デバイス株式会社

2020年10月27日

アジェンダ



決算報告

執行役員 二宮 潤

2021年3月期 業績見込み 中期経営計画 VISION2025

代表取締役社長 徳重 敦之



決算報告

執行役員 二宮 潤

2021年3月期 中間決算概況



上期予想に対しては減収増益

売上高	4.8%	減
経常利益	14.7%	増
親会社株主に帰属する四半期純利益	17.6%	増

業績概要 前期比

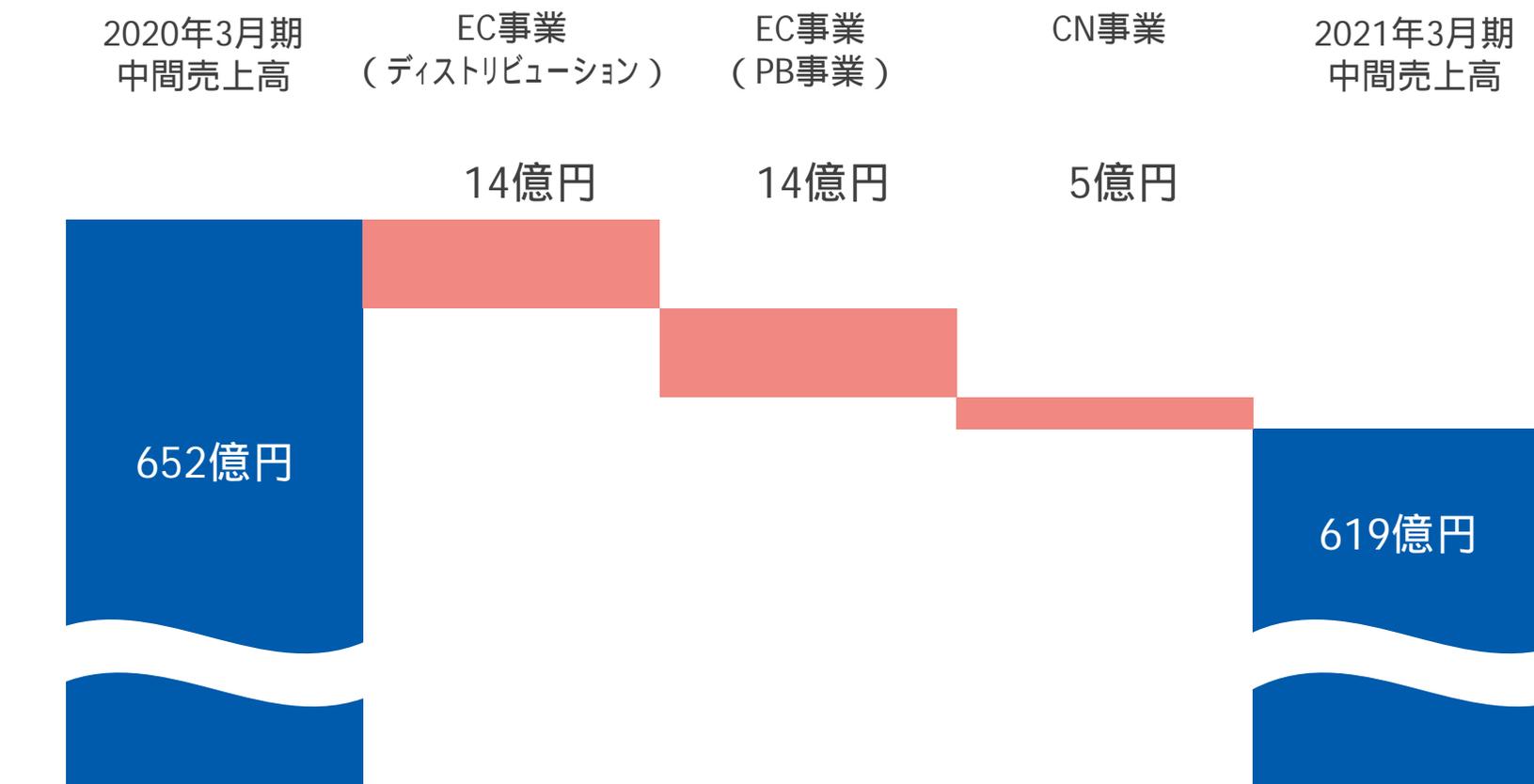


(百万円)

	2020年3月期 中間	2021年3月期 中間	増減額	2021年3月期 上期予想
売上高	65,213	61,901	3,311	65,000
売上原価	55,824	53,126	2,698	
売上総利益	9,389	8,775	613	
販管費	8,021	7,653	368	
営業利益	1,367	1,122	244	
営業外収益	90	187	96	
営業外費用	117	48	69	
経常利益	1,340	1,261	78	1,100
中間純利益	864	823	41	700
従業員数	1,229名	1,250名	21名	

中間純利益は親会社株主に帰属する四半期純利益
東京エレクトロンデバイス

業績概要 売上高 増減



※増減額は四捨五入で記載しております

セグメント区分では、PB事業はEC事業に含まれております。
PB事業とは、プライベートブランド事業の略称であり、従来の呼称である自社ブランド事業を呼称変更しております。
PB事業には、東京エレクトロン デバイス長崎株式会社、株式会社ファーストを含んでおります。

セグメント別 売上高・利益

- EC事業 代理店契約解消を 新規顧客商権拡大でカバーするも
新型コロナウイルス影響受け減収減益
- CN事業 代理店契約解消に伴い減収となったが それ以外のビジネスが伸長したため増益
(百万円)

	2020年3月期 中間		2021年3月期 中間			
	売上高	セグメント利益	売上高	増減額	セグメント利益	増減額
半導体及び電子デバイス (EC)事業	54,282	444	51,475	2,806	221	223
コンピュータシステム関連 (CN)事業	10,930	895	10,426	504	1,040	145
合計	65,213	1,340	61,901	3,311	1,261	78

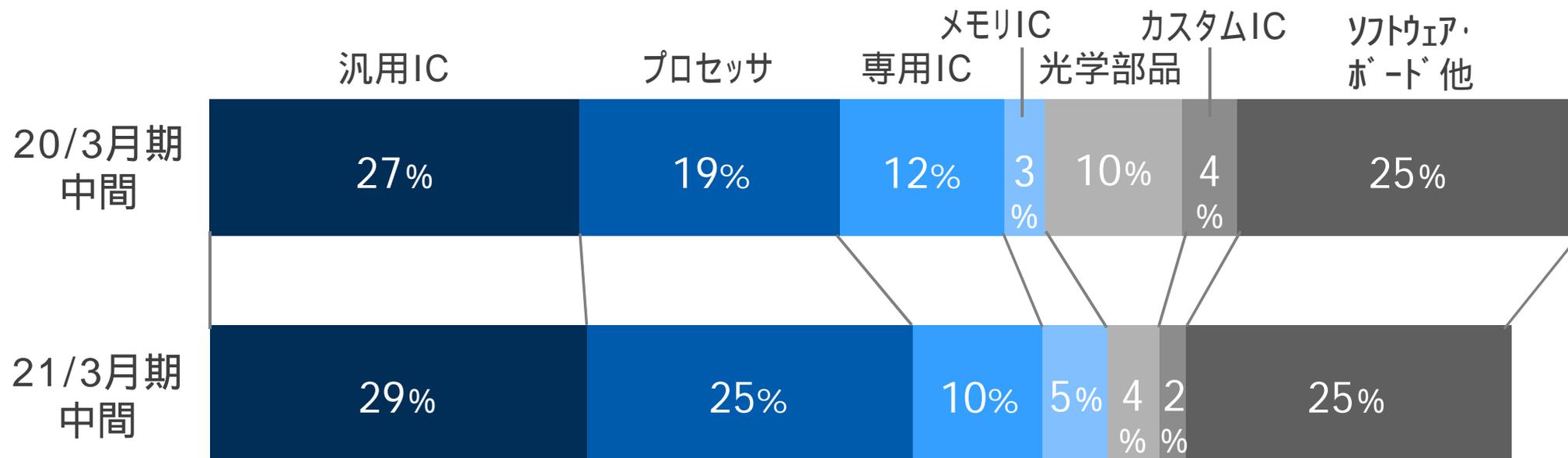
セグメント利益は経常利益
セグメント区分では、PB事業はEC事業に含まれております。

セグメント情報 EC事業



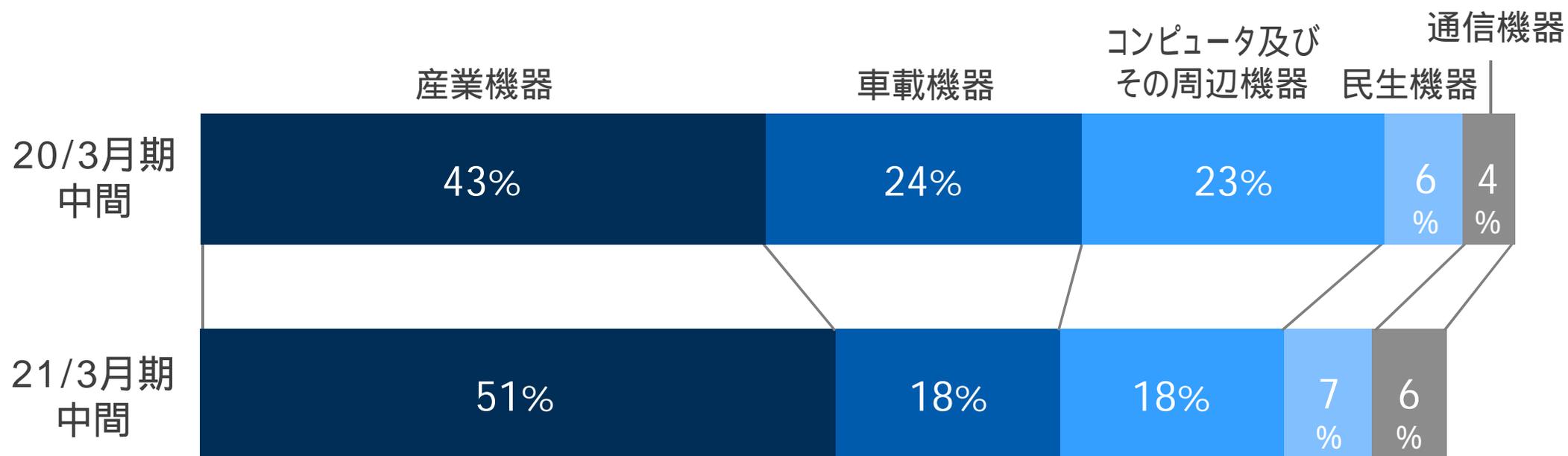
品目別売上高構成比

- 汎用IC 産業機器増加 車載減少
- プロセッサ 産業機器 通信基地局増加
- 光学部品 代理店契約解消により産業機器 車載減少



用途別売上高構成比

- 産業機器 代理店契約解消影響あるも 商権拡大により増加
- 車載機器 コンピュータ及びその周辺機器 新型コロナウイルスの影響で減少



海外連結子会社 売上高 EC事業



- 車載 PC及びその周辺機器 低調

	2020年3月期 中間	2021年3月期 中間	増減額	増減率
海外連結子会社 売上高(百万円)	14,406	13,123	1,283	8.9%
海外連結子会社 売上高比率	26.5%	25.5%		
海外連結子会社 売上高(M\$)	132	122	9	7.5%
為替レート(円)	108.60	106.93		

PB事業 売上高 EC事業



- インレビウム
- TED長崎
- ファースト

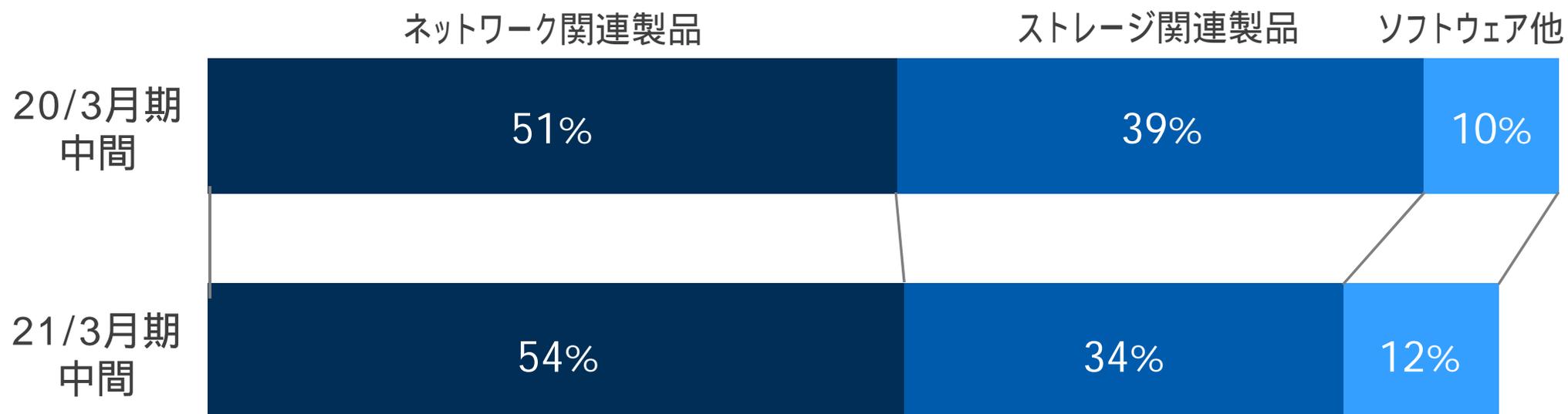
新型コロナウイルス影響受け 設計・量産受託サービス低調
半導体製造装置向けは 堅調を維持
新型コロナウイルス影響受け低調

(百万円)

	2020年3月期 中間	2021年3月期 中間	増減額	増減率
PB事業売上高	5,346	3,904	1,441	27.0%
売上高比率	9.9%	7.6%		

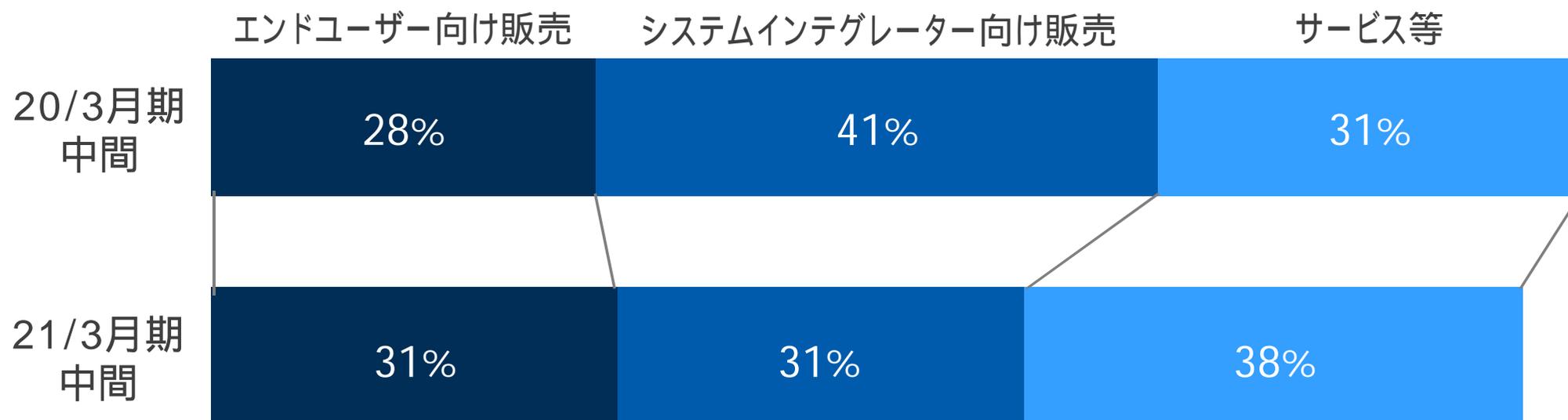
品目別売上高構成比

- ネットワーク製品 通信キャリア データセンター向けに堅調
- 代理店契約解消により ストレージ関連製品 減少



販売形態別売上高構成比

- 代理店契約解消により システムインテグレーター向け減少
- 保守サービス 好調

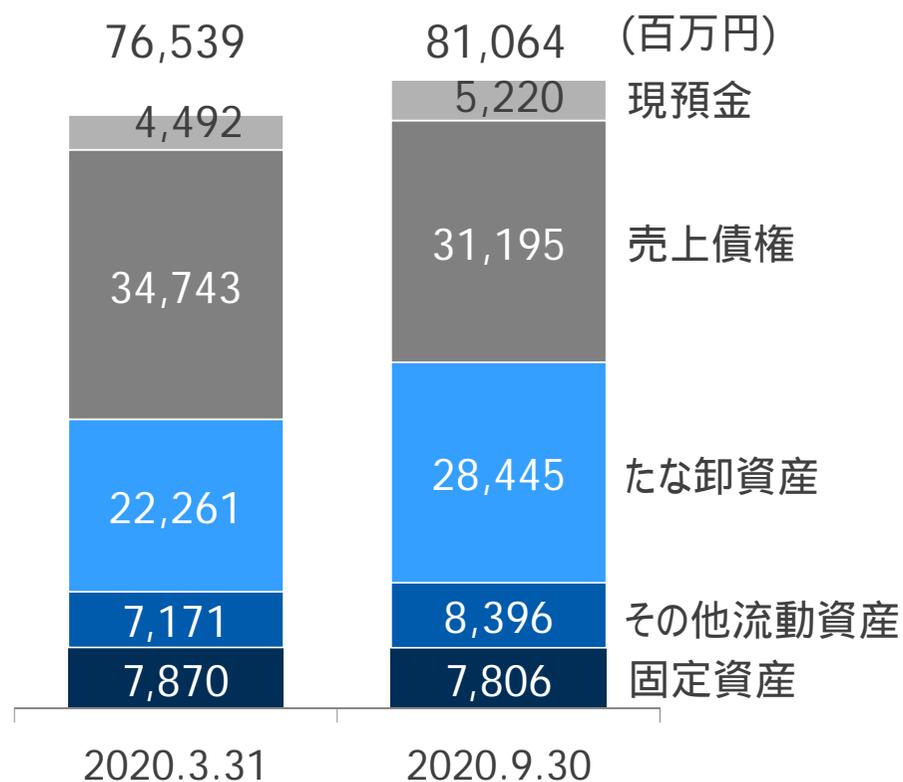


貸借対照表



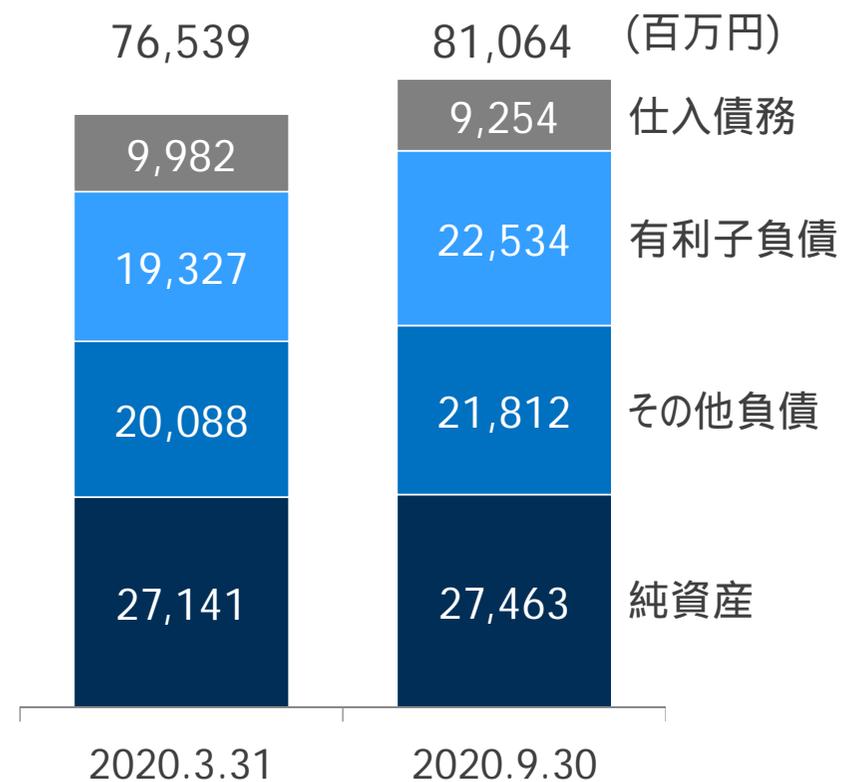
資産

- 売上高減少により 売上債権減少
- 商権拡大により たな卸資産増加



負債・純資産

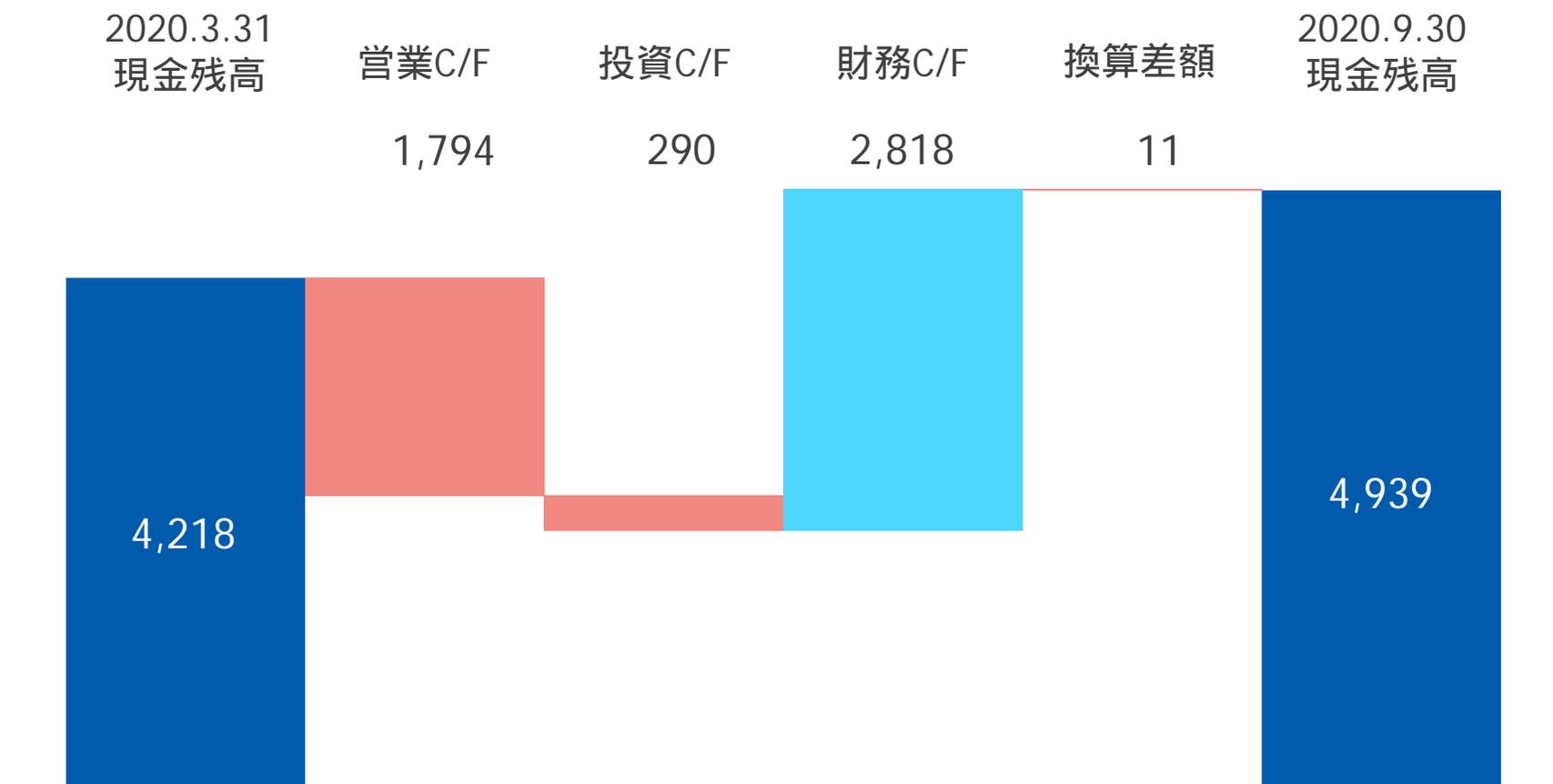
- たな卸資産増加に伴い 有利子負債増加



キャッシュ・フロー計算書

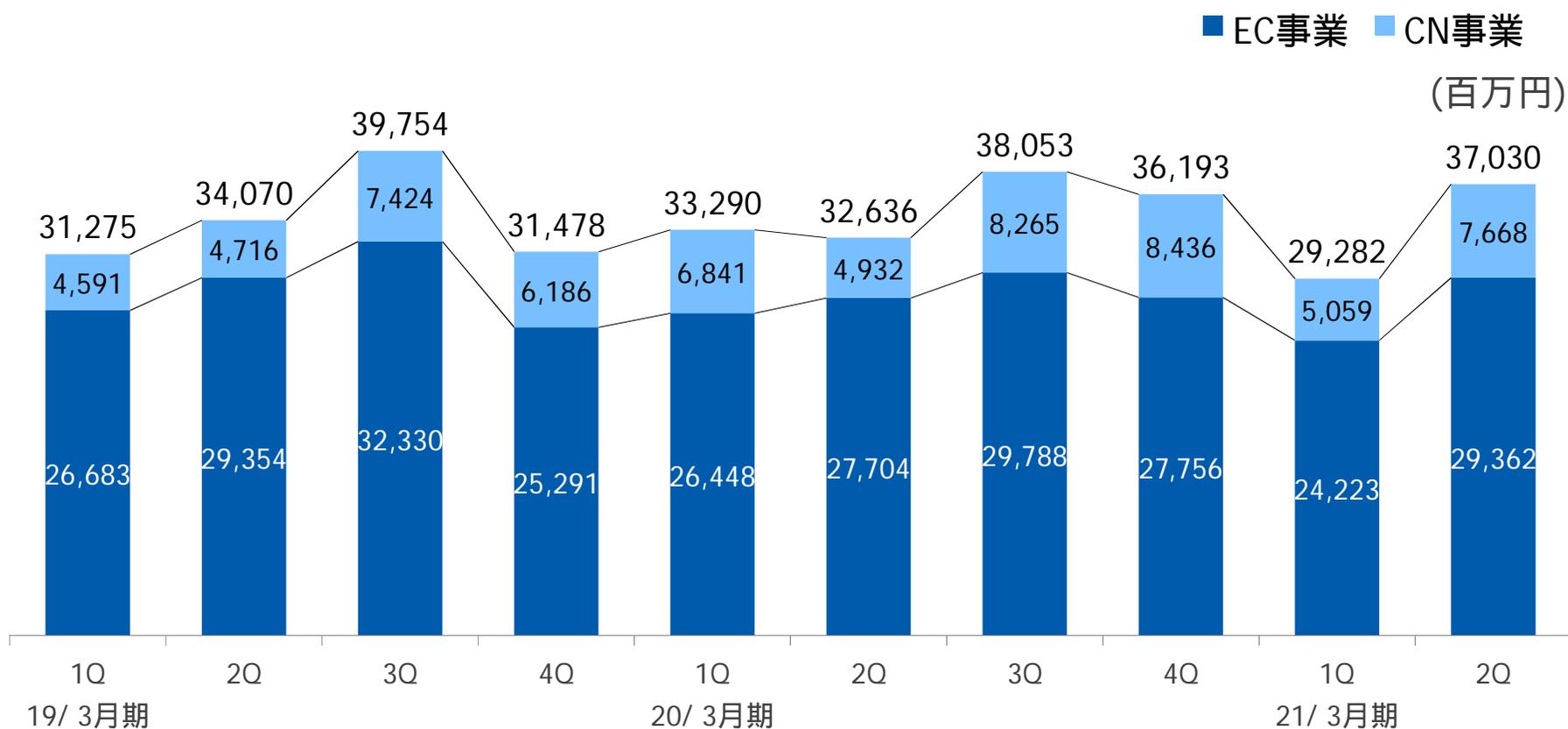


(百万円)



受注高の推移

- EC事業 2021年3月期1Qをボトムに改善を見込む 2Qからは商権拡大も寄与
- CN事業 受注は堅調に推移 2Qは研究機関向け大型案件受注



19/3月期 2Qよりファーストの受注高を含む



2021年3月期 業績見込み 中期経営計画 VISION2025

代表取締役社長 徳重 敦之

2021年3月期 業績見込み

2021年3月期 下期業績予想の前提



全社

- 新型コロナウイルス感染拡大はピークアウトしないものの経済活動は徐々に正常化に向かう
- 米中関係は引き続き注視が必要

EC事業

- 自動車・産業機器市場は回復基調
- コンピュータ及びその周辺機器は低調
- クラウドビジネスは伸長
- 新規顧客商権取り込み完了 下期売上に寄与

2021年3月期 下期業績予想の前提



PB事業

- 医療機器向け設計・量産ビジネス低調
- 半導体製造装置向けは堅調
- 画像処理関連は低調 パネル検査ビジネスが回復

CN事業

- データ通信量の増加に伴い IT投資拡大傾向
- テレワーク拡大により セキュリティ製品伸長
- 公共教育機関向けビジネスは端境期 研究機関は伸長
- 運用・保守サービスビジネス拡大

2021年3月期 業績予想



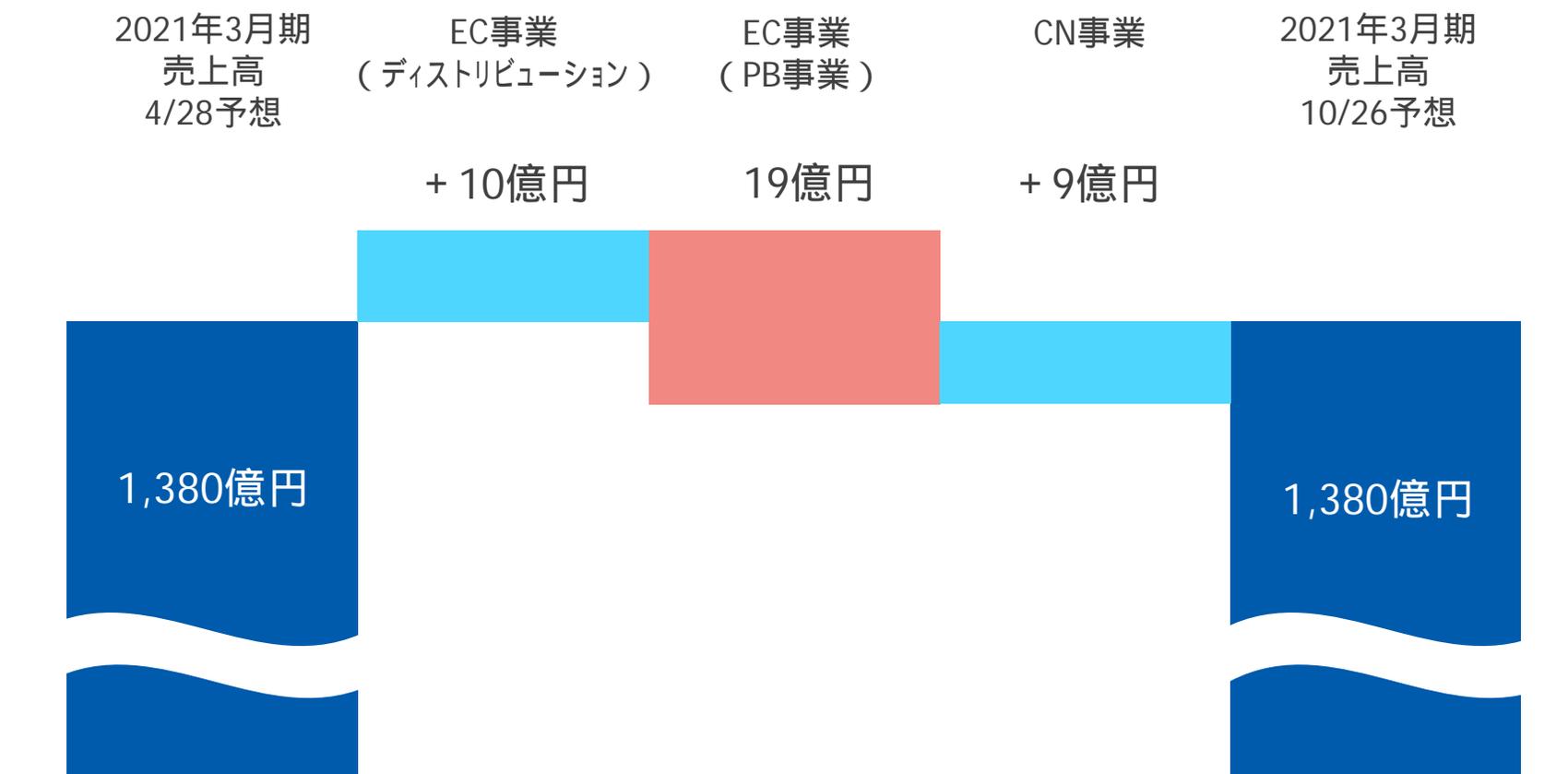
- 通期予想は据え置き

(百万円)

	2020年3月期	2021年3月期			対前年比	
	通期	上期実績	下期予想	通期予想	増減額	増減率
売上高	135,394	61,901	76,098	138,000	2,605	1.9%
EC事業	110,138	51,475	63,224	114,700	4,561	4.1%
CN事業	25,255	10,426	12,873	23,300	1,955	7.7%
経常利益 (利益率)	3,573 (2.6%)	1,261	2,838	4,100 (3.0%)	526	14.7%
当期純利益 (利益率)	2,288 (1.7%)	823	1,876	2,700 (2.0%)	411	18.0%

当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益

業績見込み 売上高増減



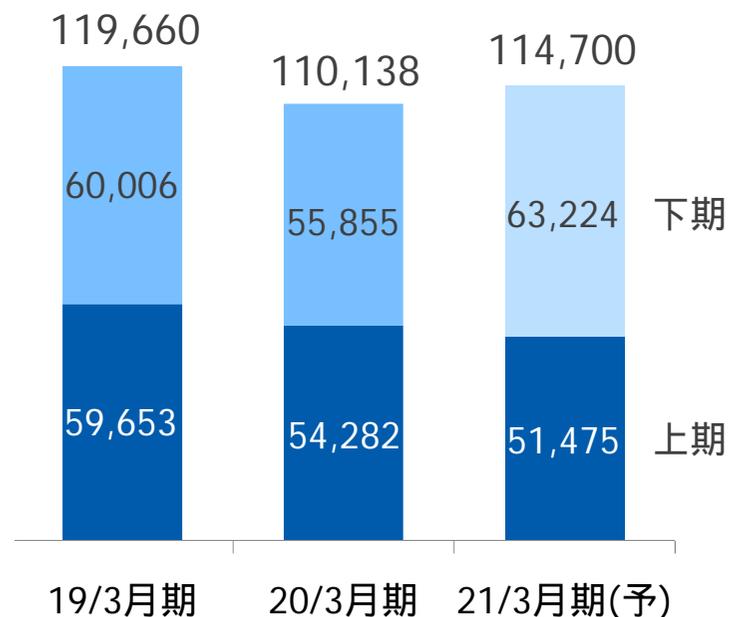
※増減額は四捨五入で記載しております

2021年3月期 施策 EC事業



売上高

(百万円)



下期施策

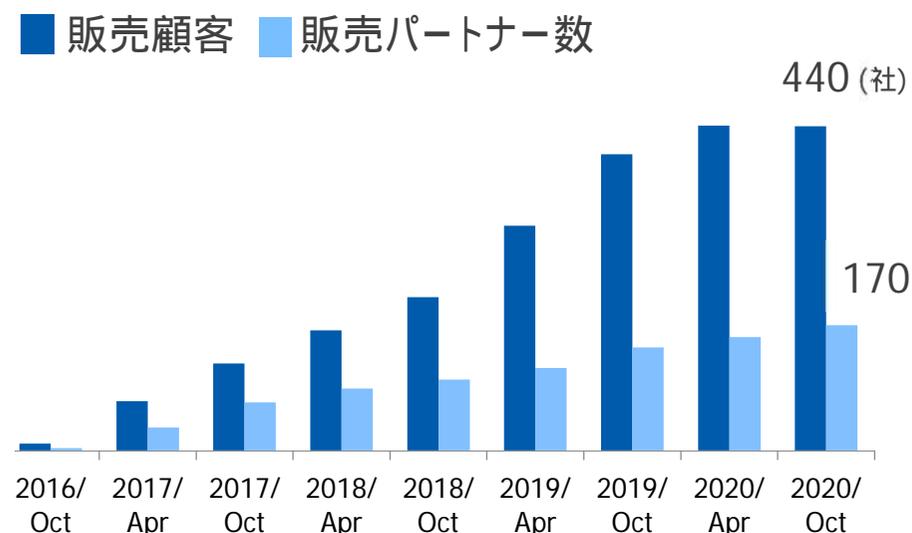
- 新規顧客におけるデザイン活動推進
(車載・産業機器)
- 高効率オペレーションの追求
- クラウド(課金型)ビジネスの推進
- 取り扱い製品を活用した自社製品開発

クラウド（課金型）ビジネスの推進

Microsoft Azure

- デジタル化加速を支えるパブリッククラウド
- スtock型ビジネス
- CSPプログラムのクラウド ディストリビューター
販売パートナー拡大
販売パートナー・顧客ビジネスの拡販支援

高収益性の確保 継続的な成長



売上高 前年同期比 172%増加

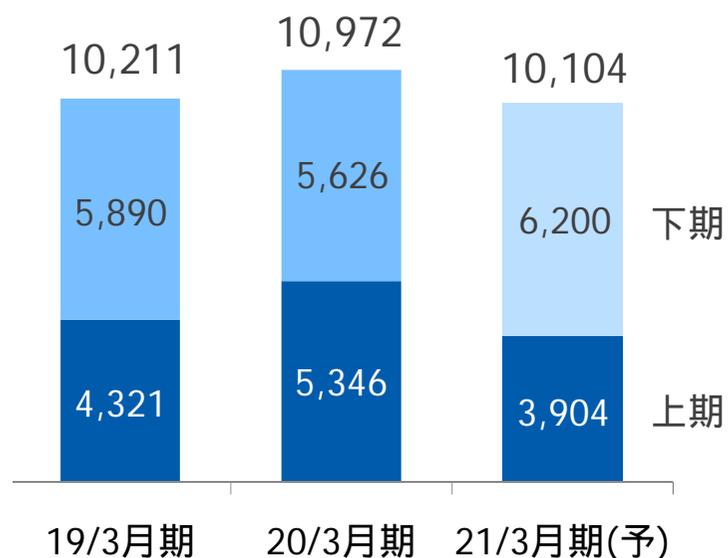
※CSP（クラウドソリューションプロバイダー）プログラム
マイクロソフト社がパートナー経由でAzureを販売する販売形態

2021年3月期 施策 PB事業（EC事業）



売上高

(百万円)



下期施策

- インレビウム（TED）
医療・医薬分野向け 設計・量産受託サービス強化
自社ブランド製品の販売促進
- TED長崎
半導体製造装置向けビジネス拡大
コンピュータテレフォニー製品の販売促進
- ファースト
フラットパネル検査システム事業拡大
ビジョンロボット開発推進

PB事業の注力製品

TED長崎 コンピュータテレフォニー製品



「CTBX-724」

- 電話・FAXとコンピュータの統合システム構築向け機器
- アナログ通信を含むシステムの更新需要に対応
- 安否確認システムやFAXによる注文システムなどで導入

ファースト フラットパネル検査装置



「FV-pixelence」

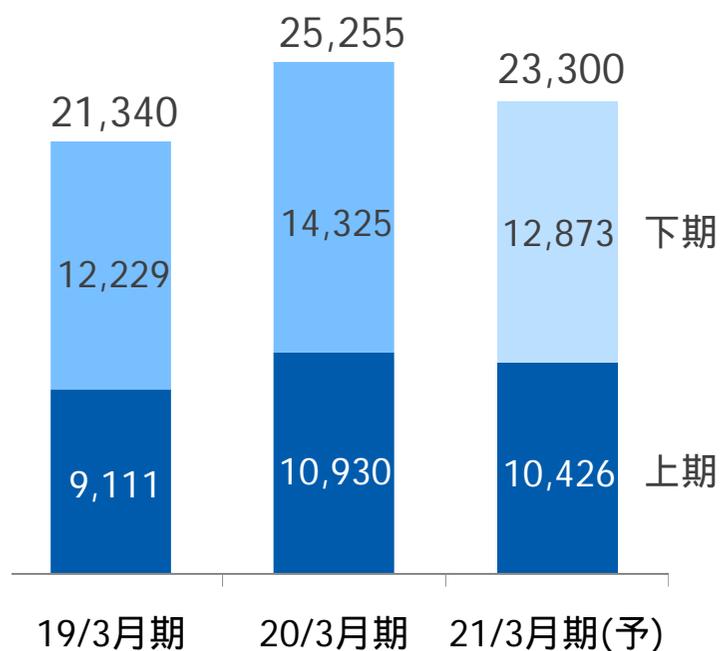
- フラットパネルの自動点灯検査装置
- 画像処理とAI技術を組み合わせ 分類精度を向上
- 人による目視検査の工数削減に貢献

2021年3月期 施策 CN事業



売上高

(百万円)



下期施策

- エンドユーザー向け販売の強化
- 技術サービスビジネス・保守ビジネスの拡大
- セキュリティ製品販売の促進
- A I 製品のマーケティング強化
- 研究機関向けビジネスの拡大

エンドユーザー向け販売の強化

データ通信量が増大

- テレワーク普及
- 巣ごもり消費増加
- 5Gサービスの拡大

データセンター・通信インフラへの投資拡大

ネットワーク製品

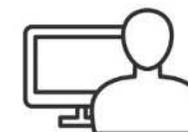


ARISTA

オールフラッシュストレージ



運用・保守サービス



セキュリティ製品販売の促進

新型コロナウイルス影響で導入加速

- 企業のクラウドサービス活用
- 仮想環境での社内ネットワークアクセス
- エンドポイントセキュリティ強化

セキュリティ対策が急務に

クラウドセキュリティ

SOCサービス

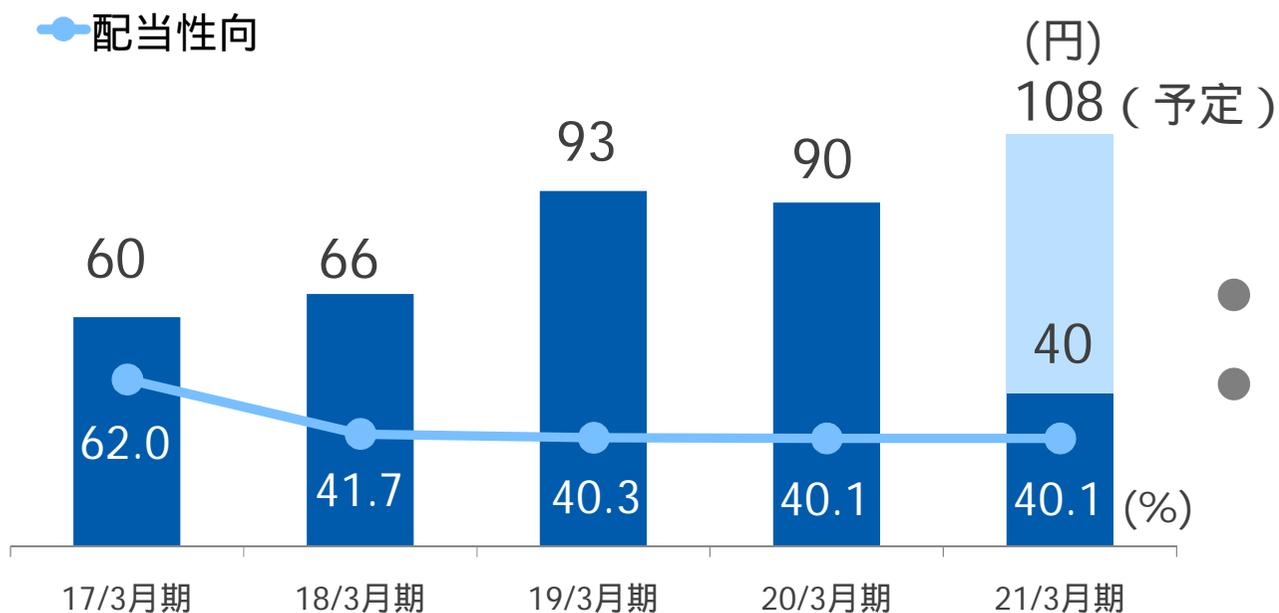


エンドポイントセキュリティ



1株当たり配当金

	2020年3月期	2021年3月期
中間	40円	40円
期末	50円	(予定) 68円



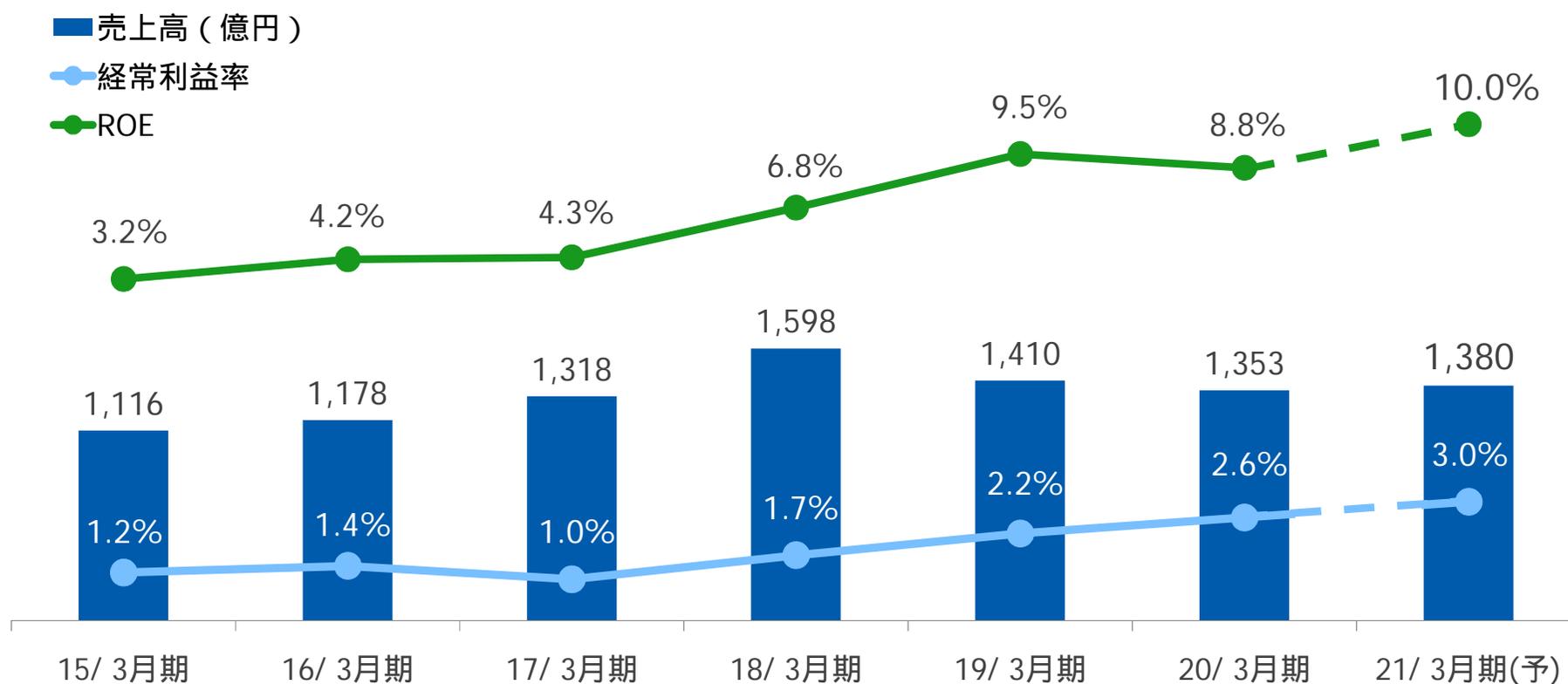
- 連結配当性向 40%を目安
- 安定的・継続的な配当の実施

中期経営計画 VISION2025

中期経営計画 VISION2020



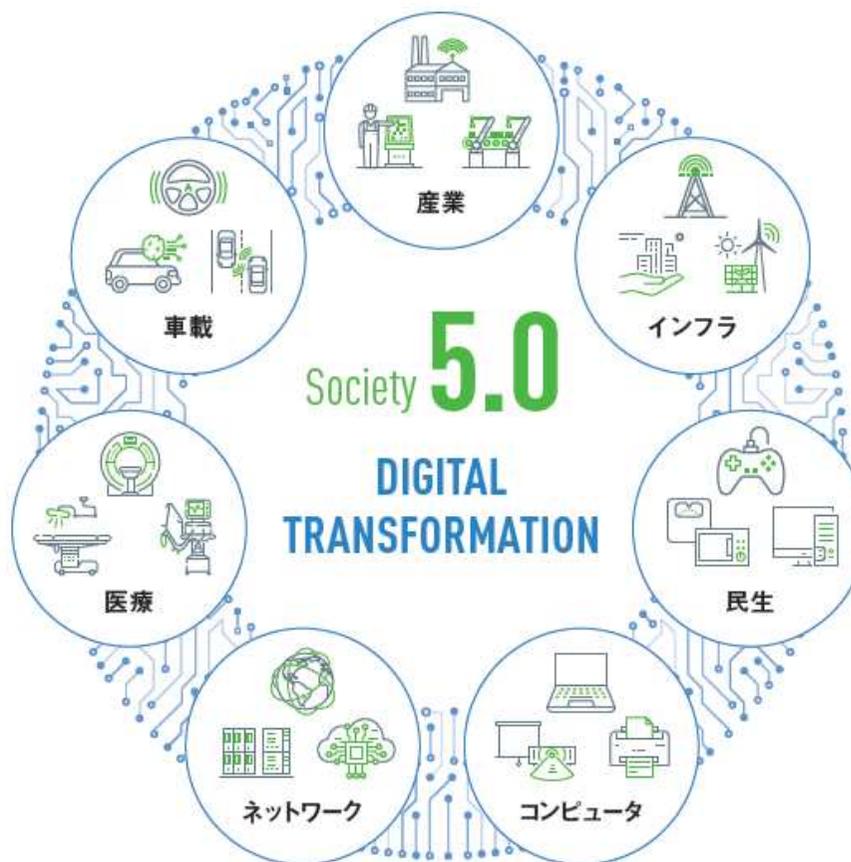
数値目標：2021年3月期 売上高 2,000億円 経常利益率 3.5%以上 ROE 15.0%



21/3月期のROEは業績予想に基づく推定値となります

想定する事業環境

低成長経済下における 高効率スマート社会 Society 5.0 の到来



高効率スマート社会で必要とされる技術要素

AI



AIやAI活用サービス開発の加速

ストレージ・ネットワーク



データの効率的な管理、利用

自動運転システム



安全性向上・効率的な交通

協働型ロボットシステム



労働力確保・生産性向上

計測システム



自動化・品質向上

次世代型製造システム



設備稼働率向上・少量多品種生産

当社のMISSION



DRIVING DIGITAL TRANSFORMATION

東京エレクトロンデバイスは
デジタルトランスフォーメーションを
実現する製品・サービスを提供し
高効率スマート社会の持続的発展に
貢献してまいります



技術商社機能を持つメーカーへ

進化する技術商社機能

- データ・サービス・ストックビジネスを利益源泉とするビジネスモデル
- メーカー事業の成長に資する顧客基盤の維持・拡大

メーカーとして目指す形

- モノづくりシステムメーカー
- ODMメーカー
- 課題解決型の設計開発部門
- 高効率スマート工場

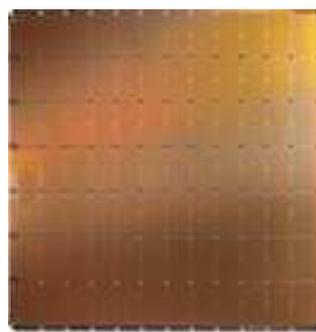
進化する技術商社機能

データビジネス・サービスビジネス・ストックビジネスへの移行



セレブラスシステムズ社「CS-1」
2019年12月発売

- 超高速ディープラーニングシステム
- システム構築コンサルティングおよび保守サービス提供
- 深層学習リソースを課金型サービスで提供予定



21.5cm角の大型半導体
「WSE」



当社のVISION

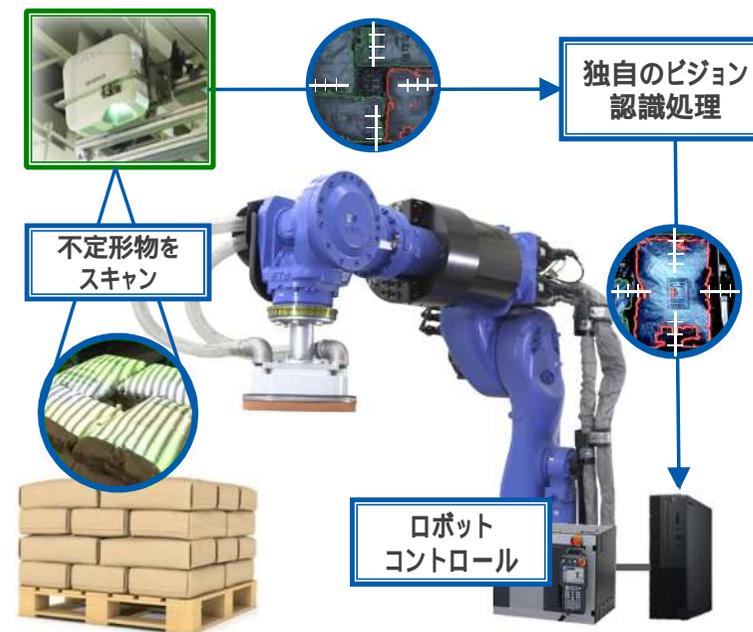


メーカーとして目指す形

データサイエンス・画像処理・ロボティクスを駆使した **モノづくりシステムメーカー**



マクロ検査装置「RAYSENS」
2020年6月発売



3Dビジョンロボットシステム「TriMath」
2019年10月発売

当社のVISION



メーカーとして目指す形

設計・量産受託サービスで培った技術に基づく 医療・医薬系 ODMメーカー



検体検査装置（製品イメージ）



東京エレクトロデバイス長崎

ODM : Original Design Manufacturing
委託者のブランドで製品を設計・生産する

増益増収（増益率 > 増収率）による持続的成長を目指す

2025年3月期

- 売上高 2,000 億円 ±10%
- 経常利益率 > 5 %
- ROE > 15 %

	売上高構成比	経常利益率
EC事業	70 %	> 2 %
PB事業	10 %	> 10 %
CN事業	20 %	> 13 %

With コロナ Post コロナ で求められる対策

自動化

リモート

非接触



Society5.0の必要要件と一致

The logo features a stylized 'C' composed of three curved segments: a blue segment on the left, a green segment at the top, and a red segment at the bottom. To the right of this 'C' is the text 'onnect Beyond' in a bold, black, sans-serif font.

本資料に関する注意事項

本資料で述べられている将来に関する見通しは、現時点で知りうる情報をもとに構築されたものです。当社の業績に直接的・間接的に影響を与える様々な要因により、今後の業績見通しが本資料と異なる可能性があることをあらかじめご了承ください。

また、大きな変更がある場合は、その都度発表していく所存です。

本資料に掲載された会社名、製品名、サービス名ならびにロゴは、各社の商標または登録商標です。



補足資料

EC事業 品目別売上高構成



品目	増減率	主な要因	主な仕入れ先
汎用IC	2.2%	産業機器増加 車載減少	TI / NXP
プロセッサ	22.9%	産業機器 基地局 車載増加	NXP/ TI / インテル / サイプレス(スパノション含む)
専用IC	25.7%	PC プロジェクタ MFP 民生機器減少	TI / NXP / ヒクセルワークス / エクセリタス / サイプレス / インビーム
メモリIC	29.0%	車載増加	サイプレス(スパノション含む)
光学部品	56.8%	代理店契約解消 産業機器 車載減少	ブロードコム
カスタムIC	32.2%	産業機器減少	ラティス / ソシネクスト / インビーム
ソフトウェア・ボード 他	5.4%	POS減少 ファースト減少 クラウドビジネス増加	マイクロソフト / ウェスタンデジタル / PFU / インテル / インビーム

EC事業 用途別売上高構成



用途	増減率	主なアプリケーション	当社の傾向
産業機器	12.1%	医療機器 放送機器 監視カメラ FA機器 計測器 工業用ロボット 工作機械 半導体製造装置 インバータ	商権拡大により汎用IC プロセッサ増加 代理店契約解消により光学部品減少
車載機器	27.9%	ナビゲーション カーオーディオ ボディ系	専用IC減少 汎用IC減少 光学部品減少 商権拡大によりプロセッサ メモリ増加
コンピュータ及びその周辺機器	26.1%	複合プリンタ プロジェクタ OA機器 ストレージ サーバ PC及び付属機器 POS	PC・ストレージ減少に伴い専用IC減少 POS減少に伴いソフトウェア減少
民生機器	11.6%	デジタルカメラ デジタルビデオカメラ TV DVD AV機器 家庭用ゲーム リモコン 白物家電	ゲーム機器向け汎用IC増加
通信機器	34.7%	携帯電話 スマートフォン ルータ 伝送装置 基地局	通信基地局向けプロセッサ増加

CN事業 品目別売上高構成



品目	増減率	主な要因	主な仕入れ先
ネットワーク 関連製品	1.8%	通信キャリア、データセンター向けネットワーク機器堅調 保守サービス好調	アリストネットワークス エクストリームネットワークス F5ネットワークス社
ストレージ 関連製品	17.8%	代理店契約解消によりシステムインテグレーター向け SANスイッチ減少 データセンター向けスラッシュストレージ増加	ピュアストレージ ブロードコム DELL EMC (アイロンデータメイン)
ソフトウェア他	14.8%	セキュリティ製品増加	ニュータニックス ネットスコプ

品目



	品目	主な製品	機能
EC事業	汎用IC	アナログIC ロジックIC	色々な用途に共通に使用されるIC
	プロセッサ	CPU DSP	電子機器の頭脳 演算機能・制御機能
	専用IC	画像処理用IC 通信・ネットワーク用IC	特定用途向けに作られた専用IC
	メモリIC	SRAM FRAM MRAM フラッシュメモリ	記憶用IC 書込み読出しが可能なものや 読出しのみのものがある
	光学部品	LED フォトカプラ	電気を光に変換して使用する電子部品
	カスタムIC	ASIC PLD	お客様の仕様に応じて作られる固有IC
	ソフトウェア・ボード 他	ソフトウェア ボード 電源 コネクタ	企業向け産業機器に組み込まれるソフトウェア プリント配線基板上にIC 電源 コネクタなどの部品を 実装した製品（ボード）
CN事業	ネットワーク関連製品	ネットワーク負荷分散装置 イーサネットスイッチ	インターネットの接続負荷の分散 スイッチングハブ
	ストレージ関連製品	SANスイッチ フラッシュストレージ	大容量データに高速に接続、記憶する
	ソフトウェア他	仮想化基盤プラットフォーム クラウドセキュリティ	データベース管理、クラウド環境の管理